

令和 7 年 7 月の解説（府県天気予報）

【7 月の天候状況】

上旬は、北・東・西日本では、湿った空気の影響で大雨となった所もあったが、西日本日本海側を中心に太平洋高気圧に覆われて、この時期としては晴れの日が多かった。このため、旬降水量は北・東・西日本日本海側と北・西日本太平洋側でかなり少なく、東日本太平洋側で少なかった。特に東日本日本海側では平年比 6%、西日本日本海側では平年比 3%（2000 年と並ぶ 1 位タイ）と、1946 年以降、7 月上旬として降水量の少ない方からの極値を更新した。また、旬間日照時間は、北・東・西日本太平洋側と東・西日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側で多かった。特に西日本日本海側では、平年比 247%と 1961 年の統計開始以降、7 月上旬として最も多照となった。東海地方では 4 日頃、梅雨明けしたとみられる（速報値）。沖縄・奄美では、期間のはじめは、太平洋高気圧に覆われて晴れの日があったが、その後は沖縄地方では、台風第 4 号や湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多かった。このため、旬降水量は沖縄地方では多かった。また、旬間日照時間は、沖縄地方では少なかったが、奄美地方では、台風第 4 号や湿った空気の影響を受けにくく多かった。旬平均気温は、偏西風が平年よりも大きく北を流れたため暖かい空気に覆われやすかった北・東・西日本でかなり高かった。旬平均気温平年差は、北日本で+5.2℃、東日本で+3.9℃、西日本で+3.7℃となり、1946 年の統計開始以降、7 月上旬として 1 位の高温となった。

中旬は、北日本では、東北地方を中心に前線や湿った空気の影響を受けにくかったほか、太平洋高気圧の北への張り出しが強く、この時期として晴れの日が多かった。このため、旬間日照時間は、北日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側では多かった。また、旬降水量は、北日本太平洋側では少なかった。東・西日本では、太平洋側を中心に太平洋高気圧の縁を回る湿った空気の流れ込みや台風第 5 号の影響で曇りや雨の日があったが、東日本日本海側を中心に、前線や湿った空気の影響を受けにくく、この時期として晴れの日が多かった。このため、東日本日本海側では、旬降水量はかなり少なく、旬間日照時間はかなり多かった。また、西日本日本海側と西日本太平洋側では、旬間日照時間は多かった。一方、東・西日本太平洋側では、湿った空気により大雨となった所があり、旬降水量は多かった。なお、関東甲信地方、北陸地方と東北南部では 18 日頃に、東北北部では 19 日頃に梅雨明けしたとみられる（速報値）。沖縄・奄美では、熱帯低気圧や湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多かった。このため、旬降水量は多く、旬間日照時間はかなり少なかった。気温は、北・東・西日本では、暖かい空気に覆われやすかったことに加え、北日本を中心に南からの暖かい空気の流れ込みもあり、北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。一方、沖縄・奄美では平年並だったが、湿った空気の影響で低い所もあった。

下旬は、偏西風が平年よりも大きく北に偏って流れ、また、太平洋高気圧が本州付近に張り出したため、北・東・西日本は暖かい空気に覆われるとともに晴れて顕著に気温が高い日が多く、日最高気温 35℃以上の猛暑日が続いた所も多かった。30 日には兵庫県丹波市柏原

で日最高気温が 41.2℃となり、全国の気象台等とアメダスにおける観測史上 1 位の高温を記録した。一方、沖縄・奄美では台風第 7 号、8 号や湿った空気の影響を受けやすかった。このため、旬平均気温は北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美では低かった。旬平均気温平年差は、北日本で+4.7℃で、1946 年の統計開始以降、7 月下旬として 1 位の高温となった。旬降水量は、北・東日本太平洋側と東・西日本日本海側でかなり少なく、北日本日本海側と西日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美ではかなり多かった。旬降水量平年比は、東日本日本海側で 0%、西日本日本海側で 1%で、1946 年の統計開始以降で 7 月下旬として 1 位タイの少雨となった。旬間日照時間は、東・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側でかなり多く、北日本日本海側で多かった。一方、沖縄・奄美ではかなり少なかった。旬間日照時間平年比は、東・西日本日本海側と東日本太平洋側で、それぞれ 198%、178%、179%となり、1961 年の統計開始以降で 7 月下旬として 1 位の多照となった。

【7 月の検証結果】

17 時発表の天気予報による「降水の有無」の全国平均の適中率は、明日予報は例年値（注）より 3 ポイント高い 85%で、明後日予報は例年値より 6 ポイント高い 85%となった。地方別の適中率では明日予報は北海道、九州南部、沖縄地方では例年値を下回ったが、その他の地方では例年値を上回った。また明後日予報は北海道、沖縄地方では例年値を下回ったが、その他の地方では例年値と同じか例年値を上回った。

同じく 17 時発表の天気予報による明日の最高気温の予報誤差は、全国平均で例年値より 0.2℃小さい 1.3℃で、沖縄地方では例年値より大きくなったが、その他の地方では例年値より小さくなった。また、最低気温の予報誤差は、全国平均で例年値より 0.1℃小さい 0.9℃で、沖縄地方では例年値より大きくなったが、その他の地方では例年値と同じか例年値より小さくなった。

（注）例年値は 2015 年～2024 年の平均値です。

【9 月の天気予報の利用にあたって】

9 月は、強い勢力の台風が日本に接近・上陸しやすい月です。また、日本付近に前線が停滞していると台風がまだ遠くにある頃から大雨となることもあります。台風が日本付近に接近・上陸すると予想されている場合には、最新の台風情報や早期注意情報、警報・注意報、キキクル（危険度分布）など気象情報に十分留意して下さい。